

木材ジャーナル 名古屋・世ぶ

平成31年2月号 No.141

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成31年新年名刺交換会開催

平成31年1月7日(月)午後5時から名古屋市西区のホテルナゴヤキャッスル「青雲の間」において、名古屋建材商社会、名古屋木材組合、中日本合板工業組合、日本合板商業組合中部日本支部の木材、建材関係4団体共催により新年名刺交換会が、来賓、組合員関係者等500名余が参加して盛大に開催された。

最初に主催者挨拶で名古屋木材組合 西垣洋一組合長は「今年は消費税率の引き上げ、働き方改革などへの真剣な対応が迫られる」と述べ、「少子高齢化で新築住宅市場の縮小は避けられないが、非住宅の中大規模建築物の木造・木質化推進でカバーできる。都市の木造・木質化を図るべき、当組合では建築士と共同での木材需要の増加を推進する。この取り組みを名古屋がリードしていこう」と新たな需要と顧客の創造を呼びかけた。



西垣洋一 組合長



福田晃久 住友林業(株)取締役常務執行役員・木材建材事業本部長

の音頭を行い祝宴に移った。会場では新年の挨拶と今年も頑張っていこうという意気に溢れ盛況であった。

最後に中締めとして、中日本合板工業組合 内藤和行理事長が業界のますますの発展と参加者の皆様の健勝を祈念して三本締めで会を終了した。

尚、当日会場にてお願いしました「緑の募金」は総額92,582円集まり、(公社)愛知県緑化推進委員会に届けました。皆様のご協力ありがとうございました。

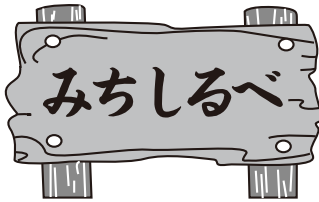
つづいて、主催者挨拶として名古屋建材商社会 福田晃久住友林業(株)取締役常務執行役員・木材建材事業本部長から「来年の東京五輪を前に新天皇の即位、ラグビーワールドカップなど大きなイベントが目白押しで、景気がけん引されるのではないかと期待され、非住宅の需要が期待され、木材をもっと使おうという流れも強くなっている。業界にとって明るい年になることを期待する」と述べた。

引き続き、日本合板商業組合中日本支部 小田敏光支部長が乾杯



竹川智世さん
2018ミス日本みどりの女神

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



平成の終わりに

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

平成の時代がもうすぐ終わろうとしている。戦後昭和を引き継いだ平成（時代）の日本は、平和・安全・自由・豊かさを享受できた時代と言えよう。次の時代がどんな時代か凡人には知る由もないが、少なくとも平成を上回る良い時代を考えることは困難と予想される。今日の世界や日本を考える場合、3つのことを考慮しなければならない。

1. 先進国の資本主義の行き詰まり。それに伴う国家体制のほころび。
 2. 50年後に8,000万人といわれる日本の人口の減少。
 3. この2つに取って代わる新しい時代の模索。
-
1. 資本主義とはお金がお金を生む経済社会を指すのであり、金利ゼロの現在ではお金がお金を生めなくなっており、資本主義の行き詰まり、崩壊の始まりと言われても仕方ない。「資本主義はその成功ゆえに自壊する」というシュムペーターの言葉ではないが、資本主義の自壊はそのお手本の国、イギリス・アメリカを最も苦しめている。今後50年、100年かけて資本主義、そしてイギリス・アメリカの崩壊が進むと思われる。その先に見えてくるものは？
 2. 日本の人口は30年後に1億人、50年後に8,000万人と予想されているが、私はそのことは日本にとって必要不可欠なプロセスとして受け入れざるを得ないと思う。もちろん8,000万人への人口減少は、現行のわが国の社会体制を維持することは不可能で、様々の混乱や困難が発生するであろうが、一方で今の過密な人口密度、そして老人の過剰な国という二点が改善され、生活しやすい、筋肉質な国家体制・社会体制が可能になる点において、このプロセスは必ずしも悲劇ばかりではない。要は、強い・やさしい・美しい8,000万人国家をつくれればよいのである。
 3. 新しい時代の模索。行き過ぎた資本主義が崩壊し、現在のような大量生産・大量消費は次第に消滅し、一国の生産力に見合った消費・人口構成・社会構成といった自然と調和・共存する社会体制に移行するのが望ましいと私は思う。（但し、人間の欲望は必ずしもこのように進むとは保証できない。）自然と調和した経済社会とは、循環経済である。一次産業の農業・林業を基本とした工業を主要産業とし、地方分権的な社会体制。大企業よりむしろ中小企業が主役となる社会。情報・金融といった四次・五次産業の縮小が起こるであろう。

シュムペーターの言葉をもう一度考えてみよう。戦後の70年間、われわれは「経済」によって幸せになってきた。しかし、今や「経済」がわれわれを不幸にしようとしている。なのに誰もが、「経済」が「拡大」すれば、まだ幸せになれると思い込んでいる。

恭子のワーキングライフ

◆ 合縁木縁 ◆

“ 平成最後の… ”

4月に新元号が発表されることになり、“平成最後の…”というフレーズを耳にする機会が増えています。私にとりましては、今回の「木材ジャーナル 名古屋・せいぶ2月号」が平成最後の「恭子のワーキングライフ」掲載になります。

遠い記憶を辿ると、平成10年6月に名古屋木材組合長より広報委員の委嘱を受け、広報委員会設置当初から男性で構成されていた中で、嶺本昌行（当時社長）の指名により私が女性初の委員として広報活動することになりました。初会合は「広報委員会設置20年・広報誌発刊通算1000号」を記念した特別座談会でした。組合長をはじめ歴代広報委員長、新旧広報委員と在名業界紙の方々が一堂に集う中「広報誌が女性にも楽しく読める要素が欲しい、女性が木材業界全体を知る機会が少ない」と自ら発言したことにより「女性の視点から見たものを素直に書いてもらえば…」と同年9月号から新コーナー「恭子のワーキングライフ」の連載が始まりました。平成19年6月号から名古屋港木材産業協同組合との合併号になり、平成26年からは隔月の掲載で現在に至っています。これまで組合員各位から「どんな人が書いているのだろうか?！」と関心を寄せていただき、時にはコラムの感想などをお聞きする機会もありました。“平成最後の…”のフレーズで、人と人との縁を強く感じた20年余りの思い出に浸っています。

一方、個人的な“平成最後の…”話題は、愛知県内の勤労者及び在住者を対象とした「愛知県勤労者美術展」（昭和59年1月から開催、愛知県美術館ギャラリーで展示）で、平成31年1月に愛知県知事賞（書道部門 最優秀賞）を受賞した事です。表彰式での主催者挨拶の中で「長い歴史のある美術展でしたが、今回の第35回をもって終了になります」と唐突に聞かされ衝撃を受けましたが、目標にしていた最優秀賞受賞で文字通り「有終の美」を飾ることができました。書道界の重鎮に高評価をいただき、書作意欲の高揚に繋がる今回の受賞。今後も働きながら書道師範として“平成最後の…”受賞を活動の原点にし、活躍の場を広げていきたいと思っています。

「 趣味を考える 」

今回、私が原稿を書かせて頂くのは、二十数年ぶりです。前は、入社して間もないころで、日頃のストレスを解消するためには、趣味を持つことが大切であり、自分は釣りが趣味だという内容であったと思います。

しかし、現在では釣りもやめてしまいました。昔から、趣味とは聞かれると、テニスとかバイクでのツーリングと答えていましたが、テニスは大学を卒業してからは、旅行に行った先にテニスコートがあればやる程度で、殆どしていません。バイクも十数年乗っていません。周りの人たちがゴルフをしているので、一時は私も趣味として始めようと思いましたが、結局は父の道具を借りて、年に一回行くか行かないかで趣味とは言えません。（自分の道具を持てば、行きたくてしかたがなくなるのかも知れませんが、、、）

「趣味とは」と調べてみると、人間が自由時間に、好んで習慣的に繰り返し行う行為で、事柄やその対象のことであるとされています。また、趣味を持つことで人生が豊かになるとも書かれていました。

皆さんは、自分の趣味を聞かれて直ぐに答えることができるでしょうか。この年になっても、会話の中で趣味を聞かれることもあります。趣味を聞かれて何もないと答えるのは、つまらない人間だと思われるのではないかと考えてしまいます。

年配の同業者の方達の中には、「仕事が趣味だ」と言われる方がいます。初めは「まさか」と思いましたが、その方の楽しそうに仕事の話をする姿を見て納得しました。

私も、今の仕事に多少のストレスはありますが、それ以上に楽しくも思っています。結局、自分もその方達の歳の頃には「仕事が趣味」と言っているかも知れません。逆に、二十年後も楽しく働く事ができていれば幸せな事なのかも知れませんね。

しかし、「まだ四十代?」、目方がどんどん増えていき、確実に身体能力も衰えてきていることを痛感していますので、今年中には体を動かす趣味を見つけたいと思う今日この頃です。

今回は、中央木材市売(株) 代表取締役 友松 功氏にお願いします。

お知らせ

☆☆☆ 飛島バス税関南のバス停に屋根が設置されました ☆☆☆

12月25日に飛島バスの西部臨海エリアの「西部税関南」バス停留所に屋根が設置されました。「雨が降ってきたりするとバスが来るのを待っている間大変でしたが、これで随分しのげます。」との喜びの声が聞かれました。

ただ伊吹降ろしが吹きつけるこの時期は「壁があるといいね」との声もありました。これからも順次設置していただけると嬉しいですね。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

飛島村で空き巣被害連続発生 !!

1月中、飛島村内では、家人不在中の一般住宅を狙った空き巣被害が3件連続発生しました。

無施錠箇所及び窓ガラス割りで侵入され、現金や貴金属等の貴重品が盗まれています。

施錠の徹底に加え、ガードプレートやセンサーライト、防犯カメラ、警報機等の音や光の防犯機器を設置する等目に見える防犯をお願いします！

◆ 広告コーナー



「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

私たちのプレカットテクノロジーは、
人と住宅の未来のために
磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956

東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)

〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6

TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184

●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



発行 名古屋木材組合

発行者 西垣 洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木 昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会